

麻 酔 科

土田 英昭教授

■ 脳脊髄液漏出症について ■

この度、脳脊髄液漏出症でお悩みの患者さんに対する治療法である硬膜外自家血注入療法を当院でも先進医療として施行することが認められました。

脳脊髄液漏出症とは、様々な原因によって脳脊髄液が脳脊髄液腔から漏れ出し、それに伴って起立時の頭痛や背部痛などを特徴とする痛み、視力障害や視力低下などの眼症状、めまいや吐き気、耳鳴り、身体のだるさ（倦怠感）などの症状が出現する病気です。

この病気に対して硬膜外自家血注入療法が有効であることは以前より知られており、欧米では通常の治療法として認められております。しかし、日本ではいまだにこの治療法は保険収載されていないため、先進医療としてのみ認可されております。

当院では、脳脊髄液漏出症の画像診断基準に基づき、確実に脳脊髄液漏出症であると認められた患者さんに対し、麻酔科で硬膜外自家血注入療法を施行します。画像診断や入院等に対する治療に関しましては健康保険が適応されますが、硬膜外自家血注入療法に関してのみ自費での治療となり、当院では患者さんに対して19,400円（先進医療のみの分）を請求させていただくことになっております。



(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課 または 麻酔科外来

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital